

南知多町制60周年記念式典

令和3年6月1日(火)

南知多町総合体育館



ごあいさつ



南知多町長 石黒和孝

昭和36年6月1日に3つの町と2つの村を合併し、町制施行により南知多町が誕生し、本年、60年の節目の年を、社会の大きな変化の中で迎えることとなりました。

この60年に至る間、伊勢湾台風からの復興に始まり、愛知用水の通水により農業や漁業、観光の礎が築かれ、それぞれの産業において県下有数の産地、観光地として発展を遂げてまいりました。加えて、知多半島を取り巻く交通網は飛躍的に整備されて物流が大きく進化し、観光においては、姿を変えながら大きな成果を出してまいりました。これも、町民の皆様を始め、本町を愛する多くの方々のご支援、ご協力により、発展を遂げることができたものと感謝いたします。

しかし現在、本町を取り巻く諸情勢は大変厳しいものがあります。その現状を十二分に認識した上で、明日の南知多町の進むべき道を切り開いていくことこそ、今に生きる私たちの責務として捉え、令和3年度から第7次南知多町総合計画をスタートさせました。

総合計画で示す、南知多町の将来イメージは「絆・選ばれる理由があるまち」であります。本町が「選ばれる理由のあるまち」となるため、今まで築き上げてきた絆と、これから皆様と共に築き上げる絆を、さらに大きく、深く、強いものにするため、一步一步努力を積み重ねていかなければなりません。まちづくりの基本理念は「暮らし続けられるまちを“あなた”とつくる」であります。大切な“あなた”と力を合わせ、私たちの町の未来へと続く道を、力強く踏み出す所存でございます。

今しばらくは、ウィズコロナの下で皆様の安全・安心な暮らしを守ることに全力を挙げてまいります。

皆様と明るい未来を創るため、心ひとつに、この困難を乗り越えてまいりましょう。

式 次 第

- ・ 開式のことば
- ・ 国歌斉唱
- ・ 南知多ハーモニー演奏
- ・ 町長式辞
- ・ 町議会議長あいさつ
- ・ 表彰並びに感謝状贈呈
- ・ 来賓祝辞
- ・ 町民憲章の朗読
- ・ 閉式のことば

町制 60 周年記念コンサート



演奏者 遠藤 柊一郎 氏 (コントラバス) 東京フィルハーモニー交響楽団
戸上 真里 氏 (ヴァイオリン) 東京フィルハーモニー交響楽団
渡邊 辰紀 氏 (チェロ) 東京フィルハーモニー交響楽団
和久井 仁 氏 (オーボエ) NHK 交響楽団
服部 真由子 氏 (ピアノ) 洗足学園音楽大学

被 表 彰 者

〔敬称略〕

町 政 功 労 者 表 彰

〔順不同〕

石 黒 兼 幸	産業振興功労	(豊 浜)
山 本 昌 弘	産業振興功労	(豊 浜)

特 別 表 彰

〔順不同〕

地方自治の進展に貢献

柴 田 芳 郎	区長 等	(内 海)
山 本 嘉 秀	区長 等	(師 崎)
篠 部 勝 見	区長会長 等	(内 海)
中 田 彰	区長 等	(内 海)
松 本 好 平	区長会長 等	(豊 浜)
内 田 新 三	区長 等	(内 海)
松 澤 公 男	区長 等	(内 海)
林 昭 利	区長 等	(内 海)
田 中 泰 資	区長 等	(内 海)
吉 田 正 男	区長 等	(内 海)

産業の振興に貢献

大 岩 万 左 弘	商工会会長 等	(内 海)
松 本 武 徳	農業委員会委員 等	(内 海)
大 岩 歳 和	商工会会長 等	(内 海)
山 下 元 明	土地改良区工区長	(大 井)
松 本 眞 平	漁協理事	(篠 島)
鈴 木 洋 一	漁協理事 等	(日 間 賀 島)

民生の安定に貢献

松 田 清 孝	民生・児童委員 等	(豊 浜)
松 本 妙 子	民生・児童委員 等	(内 海)

教育・体育・学術など文化の振興に貢献

日 比 忠 男	教育長 等	(内 海)
山 寄 修	芸術活動	(師 崎)
山 下 定 治	スポーツ推進委員 等	(豊 丘)
間 瀬 雅 信	体育指導委員 等	(大 井)
小 久 保 美 人	スポーツ協会理事 等	(篠 島)
伊 藤 大	スポーツ推進委員 等	(豊 浜)
山 本 隆 哉	スポーツ推進委員 等	(山 海)
山 下 明 美	体育指導委員 等	(大 井)

交通安全に貢献

杉 浦 和 夫	交通安全推進員 等	(日間賀島)
梅 田 裕 司	交通安全推進員 等	(内 海)
鳥 居 保	交通安全推進員	(師 崎)
山 下 平 八 郎	交通安全推進員 等	(大 井)

社会事業に貢献

老 堂 狸 会	ボランティア活動
南知多梅原猛友の会	ボランティア活動

感謝状

〔順不同〕

地方自治の進展に貢献

相川 富雄	区長 等	(豊 浜)
磯部 義定	区長 等	(片 名)
澤田 晟	区長 等	(内 海)
山本 和雄	区長 等	(師 崎)

産業の振興に貢献

鈴木 甚八	観光協会会長 等	(日間賀島)
-------	----------	--------

民生の安定に貢献

天木 五十鈴	民生・児童委員	(豊 浜)
--------	---------	---------

教育・体育・学術など文化の振興に貢献

澤田 健吾	社会教育審議会委員 等	(豊 浜)
天野 峰夫	PTA会長 等	(篠 島)
山下 和子	体育指導委員 等	(豊 浜)
田中 ゆう子	知多地区家庭教育推進協議会委員 等	(内 海)

社会事業に貢献

鈴木 和郎	ボランティア活動	(豊 浜)
山下 博敬	ボランティア活動	(豊 浜)
田中 重良	ボランティア活動	(豊 丘)
下田 雄三	ボランティア活動	(豊 浜)
南知多観光ボランティアガイド	ボランティア活動	
美浜・南知多防災の会	ボランティア活動	

南

知多町は、愛知県の知多半島南部に位置し半島の先端と沖合いに浮かぶ篠島・日間賀島などの島々からなっています。

北部は美浜町に接し、三方が海で東に三河湾、南西は伊勢湾に面した海と関わりが深い町です。

三河湾国定公園と南知多県立自然公園に指定されており、名所、旧跡、文化財、祭りなど観光資源が豊富。自然を利用したレクリエーションの基地としての整備もすすみ、四季型観光地への条件を整えつつ広域観光ルートの確立を目指しています。

南知多町の人口



人口：16,992人

男性：8,261人 女性：8,731人

世帯数：7,064世帯

(令和3年3月末現在)



面積

38.37km²

年平均気温

16.8℃ (2019年)

年間降水量

1,625.5mm (2019年)



Introduction of the minamichita

みなみちたは
こんなところ!

観光



観光のまち、南知多。
どこにも負けない魅力たっぷり。



①

① 海水浴場

毎年6月末に海開き式が行われ、町内5カ所の海水浴場で海水浴が始まります。

各海水浴場で様々なイベントが行われ、多くの観光客でにぎわいをみせます。



②

② 恋人の聖地

太一岬 キラキラ展望台

古来より伊勢神宮と縁が深い篠島。この聖地で鍵をかけることで二人の愛をつなぎます。



③

③ 日間賀島

さわやかジョギング大会

順位は気にしないで、自分のペースで磯の香りと風景を楽しみながらゴールを目指します。

④

④ 内海花火大会

毎年8月に行われるこの花火大会。大迫力の「水中スターマイン」はここ内海でしか見られません。



Introduction of the minamichita

みなみちたは
こんなところ!

産業



自然が豊かな南知多。
その強み、活かしています。

① みかん狩り

10月上旬から12月中旬まで楽しめるみかん狩り。温暖な気候に育まれたみかんは、甘みと酸味のほどよいバランスでおいしく食べることができます。

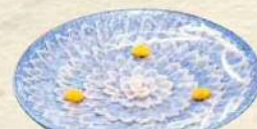
② いちご狩り

冬から春にかけてはいちご狩りがオススメ! 甘くておいしいいちごを一口食べれば、自然と笑みがこぼれます。

③ 篠島小学校の調理実習

漁業が盛んな南知多町。篠島小学校では地元漁協や観光協会協力の下、毎年地元特産の「ふぐ」の調理体験を行います。

児童たちは刺し身引きに挑戦し、その後はみんなで仲良く「ふぐ」を堪能します!



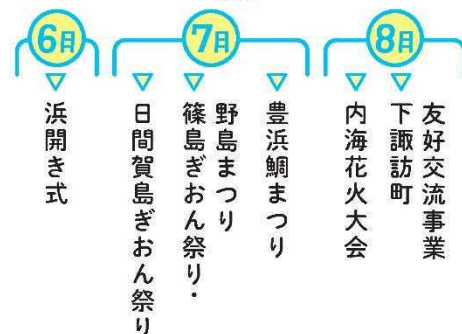
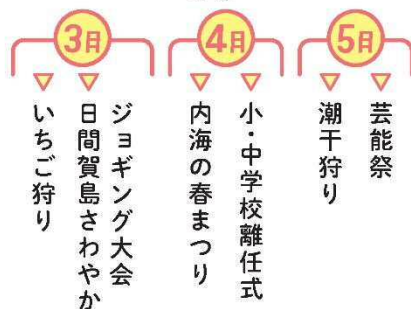
日間賀島のイルカ

春



野島まつりの船団パレード

夏





Introduction of the minamichita

南知多は
文化の宝庫!

文化



国指定文化財に伝統のお祭りの数々。
南知多町は歴史と文化のまちなんです。



① 旧内田家住宅

国指定文化財

(尾州廻船内海船船主 内田佐七の邸宅)

幕末から明治の初めまで活躍した内海船の有力船主内田佐七による建造物で、平成29年7月に国の文化財に指定されました。毎週土・日曜日と祝日に公開しています。

② 豊浜鯛まつり

「天下の奇祭」と呼ばれるこのお祭りは、竹と木材を組み合わせて作った全長10～18mにもなる鯛が、豊浜地区を練り歩く勇壮な祭りです。

③ おんべ鯛奉納

古来から伝わる篠島の伝統的な行事で、年間508尾の干鯛を3回に分けて伊勢神宮へ奉納します。

④ 師崎左義長まつり

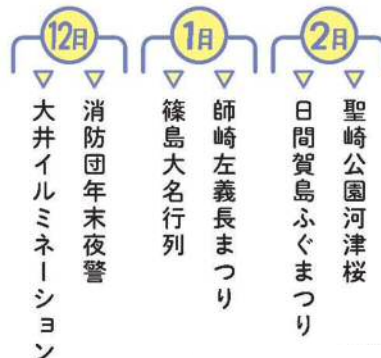
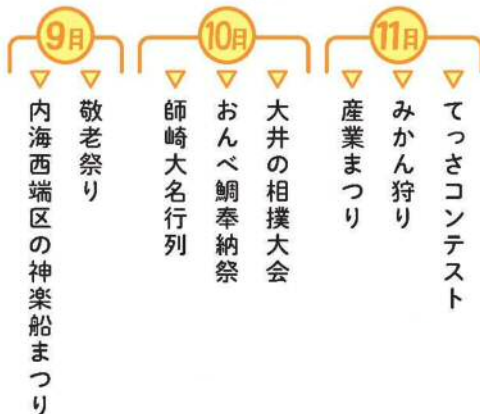
室町時代から続くといわれ、現在は1月の第4日曜日に大漁祈願をかけた大のぼりを正月飾りやお札とともに焼き尽くす行事です。



秋



冬



南知多町のあゆみ

昭和 36 年(1961 年)

- 6 月 内海町、豊浜町、師崎町、篠島村、日間賀島村が合併して、南知多町が誕生

昭和 37 年(1962 年)

- 2 月 水道事業給水条例による営業開始



知多岬農協有線放送開始
(加入 1,014 戸)

- 5 月 広報「南知多」創刊号発行
10 月 離島簡易水道海底送水管工事竣工
篠島線 4,600m、日間賀島線 2,400m



- 11 月 師崎側配水池及び送水ポンプ施設並びに送水管工事竣工

昭和 38 年(1963 年)

- 4 月 内海、豊浜、師崎、篠島、日間賀消防団統合して南知多町消防団となる
7 月 町章制定 応募数 216 点、大岩資和氏(内海)の作品に決定



昭和 40 年(1965 年)

- 2 月 内海、豊浜、師崎簡易水道事業を統合し上水道事業創設

昭和 42 年(1967 年)

- 1 月 南知多町総合計画策定

昭和 43 年(1968 年)

- 6 月 役場新庁舎竣工
建物面積 3,118 m²、
鉄筋コンクリート 3 階建、地下 1 階



昭和 44 年(1969 年)

- 5 月 南知多都市計画区域指定
6 月 片名浦土地造成事業完工(新師崎)

昭和 49 年(1974 年)

- 4 月 給食センター竣工

昭和 54 年(1979 年)

- 3 月 知多南部消防署舎竣工

昭和 55 年(1980 年)

- 6 月 名鉄知多新線全線(13.9 km)開通
篠島開発総合センター竣工

昭和 56 年(1981 年)

- 3 月 南知多町運動公園竣工
野球場、テニスコート 3 面

昭和 57 年(1982 年)

- 2 月 師崎公民館竣工

昭和 59 年(1984 年)

- 7 月 南知多町文化協会設立
8 月 南知多町保健センター竣工
鉄筋コンクリート 3 階建 1,404 m²

昭和 61 年(1986 年)

- 7 月 住民記録電算処理システム稼動(本庁)
11 月 町制 25 周年記念 第 1 回南知多町産業まつり

平成 2 年(1990 年)

- 4 月 岐阜県八百津町と友好交流開始

平成 3 年(1991 年)

- 2 月 南知多町総合体育館竣工
鉄筋コンクリート 2 階建 5,050 m²



- 3 月 内海商工会館南知多町観光案内所竣工
10 月 第 11 回全国豊かな海づくり大会(豊浜漁港)



平成 5 年(1993 年)

- 4 月 長野県下諏訪町と友好交流開始

平成 6 年(1994 年)

- 8 月 国営南知多開拓建設事業完工

平成 10 年(1998 年)

- 2 月 知多南部衛生センター（し尿処理施設）竣工
- 3 月 知多南部クリーンセンター（ごみ処理施設）竣工

平成 11 年(1999 年)

- 11 月 南知多道路 4 車線全線開通



平成 13 年(2001 年)

- 4 月 離島水道事業を町水道事業に統合
- 6 月 町制 40 周年記念事業
町紹介ビデオ「音楽スケッチ南知多ハーモニー」作製
「南知多ハーモニー」作曲 原 淳氏

平成 17 年(2005 年)

- 3 月 師崎港駐車場竣工



平成 22 年(2010 年)

- 10 月 「海っ子バス」運行開始



平成 23 年(2011 年)

- 6 月 町制 50 周年記念講演 梅原 猛 氏（総合体育館）



平成 26 年(2014 年)

- 3 月 篠島の渡船ターミナル
「島の駅 SHINOJIMA」竣工



平成 28 年(2016 年)

- 3 月 日間賀島防災センター竣工

平成 29 年(2017 年)

- 1 月 町プロモーションビデオ「みなみちたのうた♪ウミひとココロ ver」が総務省運営サイト「全国移住ナビ」市町村プロモーション動画ランキングで 1 位を獲得



- 3 月 篠島防災センター、内海防災センター竣工
- 7 月 国の重要文化財に尾州廻船主内田佐七家が指定



平成 30 年(2018 年)

- 4 月 師崎避難所運用開始
- 6 月 長野県下諏訪町と姉妹都市提携締結

令和元年(2019 年)

- 1 月 南知多町名誉町民 梅原猛 氏逝去
- 4 月 日間賀島に「HIMAKAJIMA PORT ひまぼ」がオープン



令和 3 年(2021 年)

- 3 月 豊浜防災センター竣工
- 4 月 第 7 次南知多町総合計画運用開始



南知多町民憲章

- みんなできまりを守り、明るい社会をつくりましょう
- いたわりと感謝の気持ちで、素直な心を育てましょう
- 健康で明るく、規律ある生活を築きましょう
- 笑顔で話し合い、心のかよう家庭をつくりましょう
- かけがえのない自然を大切に、住みよい町づくりに努めましょう

昭和56年6月1日制定

町章

(昭和38年7月公募により制定)



「みなみ」の「み」を図案化し、平和と飛躍を象徴しています。

町の花・木



町の花／スイセン

12月から3月にかけて、白と黄色のコントラストで海岸を彩るスイセンは、南知多の冬の風物詩です。その美しさと薫り高さで親しまれ、昭和51年に町の花に制定されました。



町の木／ウバメガシ

土地が乾燥し、土壌が浅い知多半島南部はウバメガシの生育条件にぴったりで、町内各地で群生しています。昭和51年に町の木に制定されました。